

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

統合小学校校舎建設の請負契約が、11月16日の臨時議会をもって締結となりました。

いよいよ29年4月の開校に向け、また一歩前進したことになります。

東日本大震災の復興事業や東京オリンピックの関連事業により近年、建設費が高騰し、各自自治体の公共事業が先送りとなる大変厳しい環境の中で建設計画を立てなければならず、特に工期には苦慮したところがあります。

建設工事の契約は、基本的には競争入札によることとされており、が、今回は、町の財政事情も勘案し、設計・施工一括発注方式を採用しました。予定価格を含めた校舎の整備

方針と仕様書を示し公募したところ技術提案の競争とはなりませんでしたが、その1社については、プレゼンテーションを行い、総合的に評価し、採用となったところであります。最終的に一部、提案の調整を図り、契約の運びとなりました。

なかには、あと4億円追加しても「木のぬくもりが欲しい」という意見もありましたが、お金をかければきりが無いわけでありまして、執行機関としては、予算の範囲で、児童が安全で安心して学べる教育環境の整備が図れるのではないかと考えております。

今、町は、将来生き残れるかどうかの大きな岐路に立っています。限られた財源の中で、やりたい事業は山ほどあります。財政の健全化を念頭におきつつも、時には大胆な行政運営も視野に入れているかならないかと思っておりますので、町民の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

SADA[©]
No.13